



第3回地域包括ケア推進会議 協議事項

日時：平成29年12月20日（水）18：30～

場所：文化センター 1階 大講義室

資料構成

- 1 地域包括ケア（システム）とは
- 2 前回の主な意見
- 3 本人の選択と家族の心構え
- 4 すまいとすまい方
- 5 介護予防・生活支援
- 6 医療・看護・介護・リハビリ・
保健福祉





私たちが目指す姿

誰もが、住み慣れた地域や自らが望む場で暮らし続けることができる まちづくり・地域づくり

「誰もが」とは……

高齢者だけでなく、認知症になっても障がいのある方も、子育て世代も、子どもたちも、文字通り、「誰もが」です。

「まちづくり・地域づくり」とは……

保健医療福祉だけではなく、教育や経済分野など、様々な分野が関わるものです。

そのために、
「つながる」

共有
・
顔の見える
関係

地域で、在宅で暮らすを、あきらめない。
地域で、在宅で暮らす「限界点を高める」

いわきの包括ケアとは、
「つながる・いわき」ということです。

支える側と支えられる側の垣根を低くする。

本人や家族の目線から見る

「小さく生んで、大きく育てる」
(スモールスタート)という考え方、
「小さな取組みを、広めていく」
という考え方で進めます。

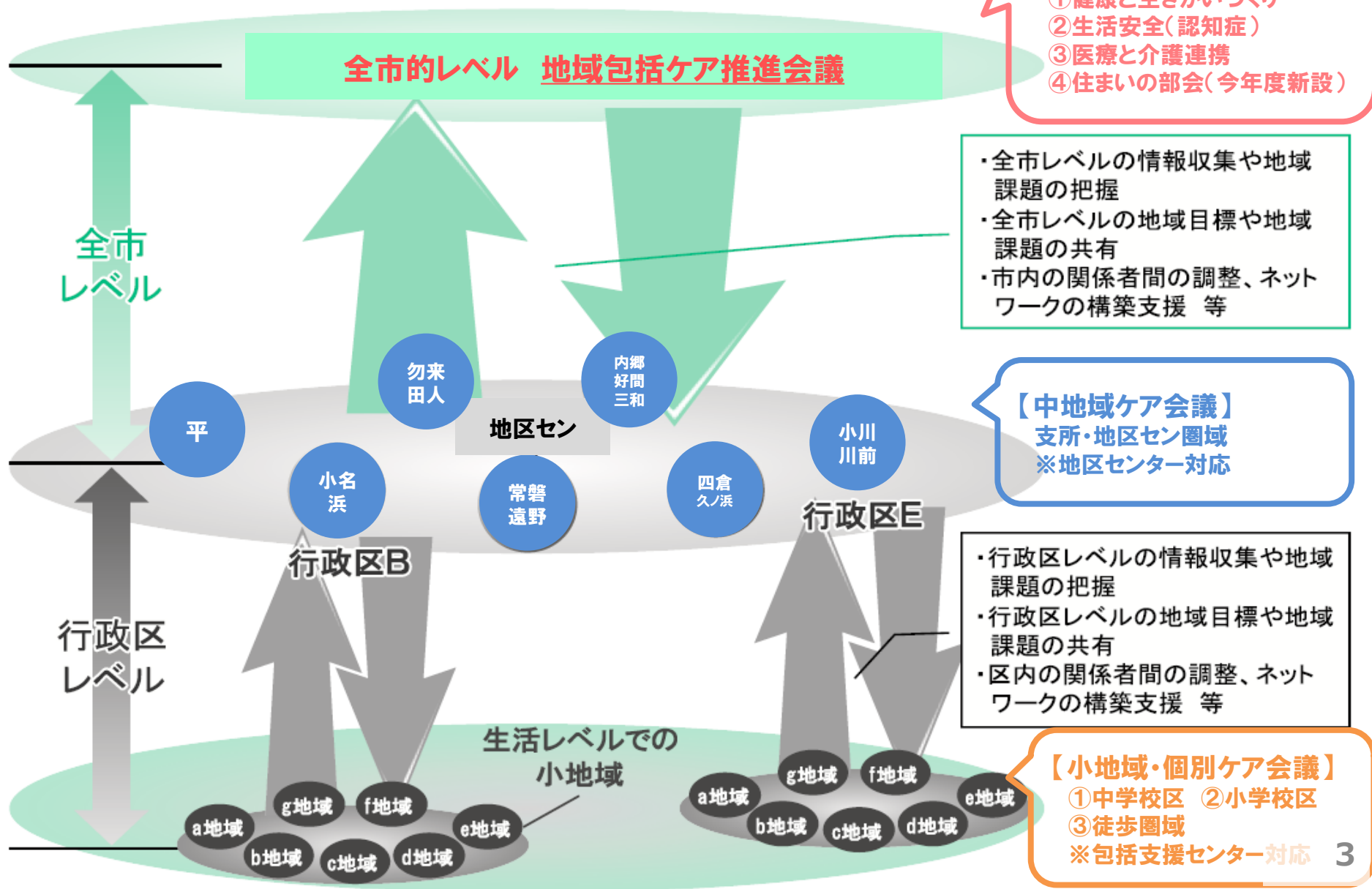
必要に応じて、適宜、
改良・見直していきます。

つながる
ために、

情報発信
・
見える化



図表 階層的なマネジメント体制の構築（イメージ）





平地区

第1回：9月7日開催
第2回：12月7日開催
第3回：1月予定
第4回：3月予定

＜主な検討・取組事項＞
○中地域ケア会議における
検討事項のあり方について

小名浜地区

第1回：6月21日開催
第2回：9月6日開催
第3回：11月29日開催
第4回：2月予定

＜主な検討・取組事項＞
○学び舎-おなはま-
○認知症部会
○在宅医療出前講座
○各種団体事業報告
○つどいの場

勿来・田人地区

第1回：6月19日開催
第2回：9月29日開催
第3回：検討中

＜主な検討・取組事項＞
○移動手段検討
○介護施設等空床情報提供
○医療・介護・健康フェア
○認知症サポーターの活用

常磐・遠野地区

第1回：9月28日開催
第2回：2月予定

＜主な検討・取組事項＞
○各部会の取組み状況と
今後の活動について
○常磐・遠野いきいき健康
塾について

内郷・好間・三和

第1回：7月24日開催
第2回：11月27日開催
第3回：2月予定

＜主な検討・取組事項＞
○生活状況・生活課題把握に
向けた調査について
○認知症ケアパスについて
○認知症地域相談窓口
○介護塾の実施状況及び次年
度の開催について

四倉・久之浜大久

第1回：5月31日開催
第2回：1月予定

＜主な検討・取組事項＞
○オレンジカフェ
○よつくら塾
○医療・介護・防災フェスタ
○認知症声かけ訓練

小川・川前地区

第1回：9月26日開催
第2回：2月予定

＜主な検討・取組事項＞
○川前地区高齢者支援
ネットワーク連絡会
○小川寺子屋
○住民支え合い活動づくり
事業

参考資料 1



高齢者生活安全部会

第1回：9月20日 開催
第2回：12月6日 開催
第3回以降：検討中

<主な検討・取組事項>

- 認知症施策の総括・評価
- 認知症初期集中支援事業の課題と解決策の検討
- 認知症サポーターの活動づくり
- オレンジカフェ以和貴の内容の検討

健康と生きがいづくり部会

第1回：7月25日 開催
第2回：8月29日 開催
第3回：9月27日 開催
第4回以降：検討中

<主な検討・取組事項>

- 短期集中予防サービスの本格実施に向けた支援マネジメント会議の実施
- 介護予防事業（つどいの場、シルバーリハビリ体操）の評価指標、仕組みを検討する

医療と介護連携促進部会

第1回：10月25日 開催
第2回：1月17日 予定
第3回：3月28日 予定

<主な検討・取組事項>

- 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- 在宅医療・介護連携拠点の設置に向けた協議
- 情報共有支援の検討

住まいの部会（今年度新設）

第1回設置準備会：9月13日 開催
第2回設置準備会：12月6日 開催
※今後の予定については検討中

<主な検討・取組事項>

- 情報共有
- 現状の把握
- 課題の抽出
- 対応策の検討



前回(第2回)の主な発言要旨

① 障がい分野の動きなど

- ・ 社会資源を市南部に充実させるべきだ、との意見が挙がっている。
- ・ 自立支援協議会では、障がい児が成人になるまで一貫した支援を受けられるようなサポートブックを作成したり、地域生活支援拠点の整備を進めたり、親亡き後の障がい者支援について話し合ったりしている。
- ・ 高齢者に対する支援に活用されている社会資源を、障がい者などに対する支援にも活用していくことが、これからは求められるだろう。

② 住まいについて

- ・ 快適な住まいをどのように供給していくのか、空き家などの課題も踏まえながら、様々なアイデアを出して、考えていく必要があるだろう。

③ つどいの場と介護予防効果

- ・ つどいの場が増えて、参加者も増えた、というのは分かるが、それによって、いったいどれだけの介護予防効果があったのか、というのが見えない。

④ 学校の授業による周知

- ・ 学校の授業などでいわき市について考えてもらうことが重要だろう。



① 障がい分野の動きなど

前回発言
ポイント①

共に生きる社会に向けて
障がい福祉課より

参考資料 3





普及啓発に向けての取組み全体像

①（直接）体験・学習

健康いきいき塾
小川寺子屋など

常磐・四倉・小川・
内郷・小名浜で
月1～2回開催

医師会出前講座
・
つどいの場への
専門職の派遣

健康フェア
・
劇

オレンジカフェ
・
注文を間違える
カフェ

いごくフェス2018
(2/3 アリオス中劇場 開催予定)

②情報媒体

フェイスブック
(随時発信)

WEBサイト
(9月開始)

フリーペーパーなど
紙媒体
(12月創刊・今年度は
年2回発行予定)



内郷・好間・三和地区『介護塾』開催状況

	地域	団体	日程	人数	演題	講師
1	内郷	高坂一丁目	7/15	20	最後までわたしらしくいるために	医師
2	内郷	白水町（6区）	8/25	15	認知症のはなし	医師
3	内郷	高野町	9/13	15	最後までわたしらしくいるために	ケアマネ
4	内郷	寿大学	9/19	50	最後までわたしらしくいるために	医師
5	好間	福寿サロン	10/27	15	介護予防	OT
6	好間	下好間（水曜会含む）	12/13	30	お薬のはなし	薬剤師
7	三和	上市萱つどいの場	7/21	7	お薬のはなし	薬剤師
8	三和	上市萱つどいの場	9/22	6	最後までわたしらしくいるために	ケアマネ

計 158

小名浜地区の地域医療介護学校として、
「学び舎おなはま」が
 中地域ケア会議から
生まれ、地域内での開催
 が始まっています。

お届けします！

学び舎—おなはま—ご案内

～小名浜地区の医療・福祉・介護の専門職が出張します～

募集の対象

小名浜支所管内に在住している高齢者等で、原則10人以上の方で構成された団体・グループ等 **10**



ポータルサイト WEBでつながる！ igoku.jpで検索



ひと

people

人生を楽しみまくってる達人にお話を伺ったら、やっぱりすごく魅力的でした。



二ツ箭と呼吸する日々
小川町 菅野 遼さん

90歳を越えてなお現役のヨガインストラクター菅野遼さん。二ツ箭山とともにある豊かな暮らしを追いました。

小川



楽しいからこそ、やれる
久之浜町 片寄 清次さん

いわき市久之浜の老舗菓子店「菓匠梅月」。その店主、片寄清次さんに、恐れ多くも菓子作りと人生について伺いました。

久之浜大久



みんなといっしょあう、全てはそこから
下三坂 西村 キミさん

いわき市の中山間部、下三坂地区に「地域包括ケア」の原点をつくった人、西村キミさんを訪ねました。

三和 下三坂

閲覧View数：
19,600

(9/18~12/18)

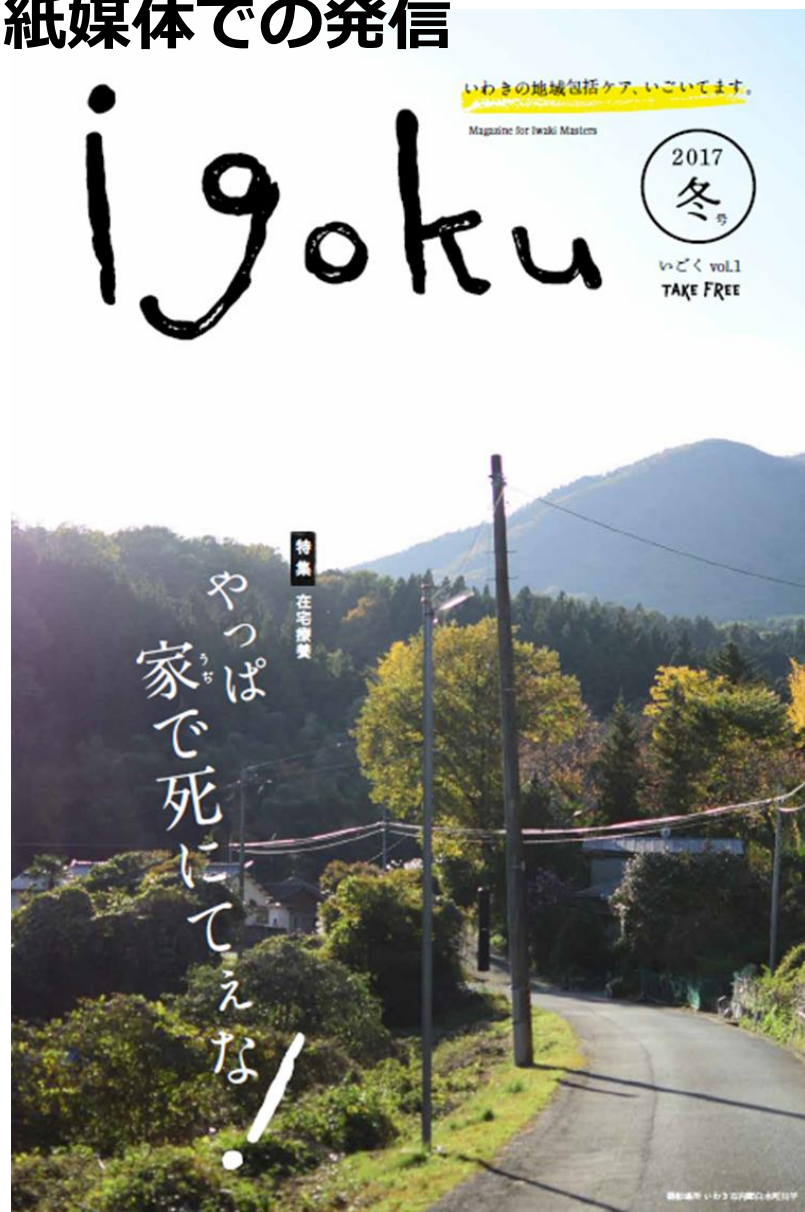


igokuノート「ひと」

楽しいからこそ、やれる



紙媒体での発信



高齢者は65歳から、上は100歳まで。
30歳以上の開きがあります。
WEBだけでは届きません。
紙でもつながる！

年3回発行予定（今年は2回）

12月中旬 創刊！

参考資料 4





笑って、体験して、前向きに“最期”を考えよう、フェス！ 2/3開催！

igoku（いごく）Fes 2018 2/3（土） 11時～15時40分 @アリオス

受賞者の紹介は、3分ほどの動画。
一言あいさつとトロフィー授与

中劇場ホワイエ～中リハーサル室
入棺体験&遺影撮影(現像&送料無料！)



YEAH!!! 写真

“遺影じゃなくてYEAH!!!
最期は笑顔”



素敵な人・取組みを表彰します！

1

3

入棺体験&遺影でYEAH！

ケーシー高峰師匠
(最後に40分漫談)

劇「家で暮らすということ」
ケーシーさんの健康漫談

2

4

1日限りの「注文を間違えるレストラン」

※調整中



ロクディム
(全体の司会も
お願い)



@アリオスカフェ～カンティーネ
・梅月 かしわ餅 などの
つどいの場グルメ飯

参考資料 5





第2回住まい部会設置準備会

参考資料 6・7

前回発言
ポイント②

【日程】

- 平成29年12月6日（水）

【出席者】

- 不動産関係者
- 葬斎業者
- 清掃業者
- 医療・介護・福祉関係者
- 寺関係者
- 行政関係者

【内容】

- 情報共有
- 現状の把握
- 課題の抽出
- 対応策の検討
- 孤立死と死後の問題について
- 身元引受人と連帯保証人
- 関係機関の連携体制



【今後の予定】

- 内容が多岐に渡るため、課題に応じて参集者を変えながら、対応策の検討をより深く掘り下げる。
- 関係団体への働きかけに取り組む。
- それぞれの団体が連携し、リスクを分散できるような仕組みの構築について、個別具体の事例を拾い上げ、他自治体などの制度を調査しながら、検討を進める。



【主な発言要旨】

- ・ 家庭の中で高齢者の抱える問題について考える必要がある。
- ・ いわき市は孤立死が多く、経済的に問題を抱えた方も少なくない。
- ・ 火葬まではどうにかできても、お骨をどうするかに困ることが多い。
- ・ 人生の最期について、事前に準備しておく必要がある。
- ・ 墓については、何かと費用が嵩むので、生前から資金を積み立てておけるような仕組みが必要かもしれない。
- ・ 連帯保証人や身元引受人の取扱いについては、それぞれの病院や診療所ごとにルールがある。
- ・ 死亡届の取扱いについても、それぞれの病院や診療所ごとにルールがある。
- ・ 今後、ますます空き家が増えていくことから、不動産の所有者としても収入を維持していくためには、これまでは敬遠していたような単身高齢者なども、広く受け入れていく必要性に迫られるだろうが、そのリスクを軽減できるような仕組みを関係機関が一緒になって作らなければならない。
- ・ 一法人では対応できない課題も、複数の法人ならば対応できる。
- ・ 高リスク者へのアウトリーチも並行して考える必要がある。





つどいの場の現状について

	これまで (H29.3)	前回 (H29.10)	今回 (H29.12)
つどいの場の数	340ヶ所	390ヶ所	<u>397ヶ所</u>
参加実人数	6,000人	6,546人	<u>6,670人</u>

※多様なプログラム活用団体**約170**団体中、医療介護リハ専門職派遣：**93**件



【子どもとの共生】 玉川幼稚園でのつどいの場 ①11/6 ②12/14



つどいの場の参加者の認定状況について

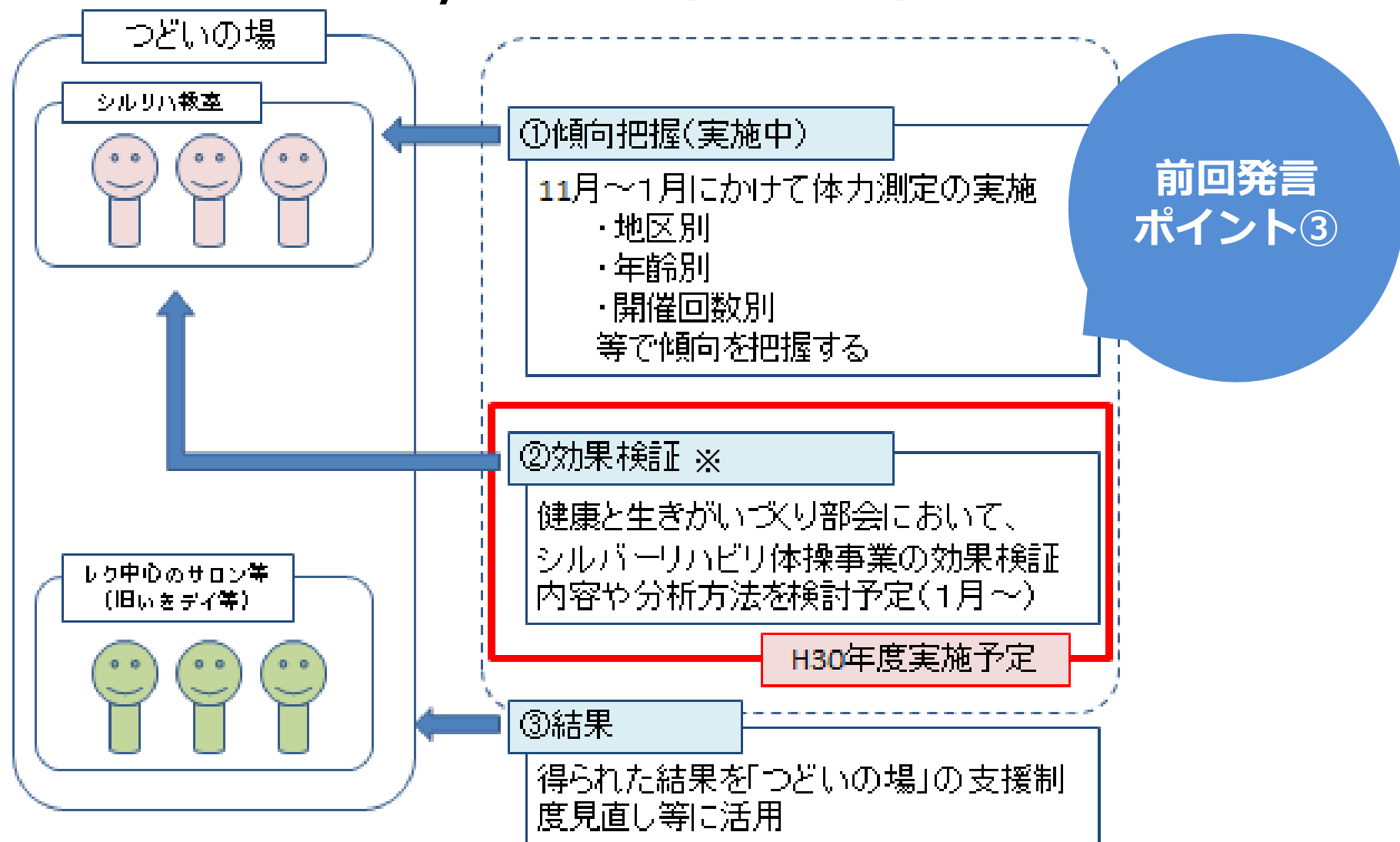
区分	つどいの場		いわき市平均※	
調査者数	2,000人		2,000人	
認定者数	368人	<u>18.4%</u>	404人	<u>20.2%</u>
要支援 1	111人	5.6%	37人	1.9%
要支援 2	105人	5.3%	57人	2.9%
要介護	152人	<u>7.6%</u>	310人	<u>15.5%</u>
平均介護度	<u>0.91</u>		<u>2.16</u>	

前回発言
ポイント③

（※ いわき市平均2,000人は、つどいの場と単純比較するため便宜的に置いています。）



今後のつどいの場参加/不参加（介護予防）効果調査について



※シルバーリハビリ体操未経験者に体操を実施し、一定期間後の体力変化等を確認・検証



介護予防マネジメント支援会議

10月から開催！

高齢者の生活行為の課題等を明らかにし、自立支援に資するケアプラン作成と支援を行うため、多職種からの専門的な助言を活かしたケアマネジメントを実施するもの。

アドバイザー職種

医師、薬剤師、OT、PT、ST、歯科衛生士、管理栄養士、地域包括支援センター

【目的】

自立支援・介護予防の観点を踏まえて、
「要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善に導き、自立を促すこと」
「高齢者のQOLの向上」を目指す。

【効果】

高齢者の生活の質の向上に加え、

- (1) 専門職としてのスキルアップ
- (2) ケアマネジメントやケアの質の向上
- (3) 参加者によるネットワークの構築

【会議の開催状況】

○ **9回**

(10/23,10/30,11/6,11/13,11/20,11/27,
12/4,12/11,12/18)

○ **27ケース**

※ 年明けから公開予定



ケアマネジメント支援会議

第1回本格実施

10月23日 18:00～21:30 場所:総合保健福祉センター

3ケースについて、ケアプラン及びプログラム実施についての多角的な検討と助言を頂く。





住民主体型（住民支え合い活動）

第3層協議体活動状況（いわき市社会福祉協議会実施）

地区	実施（予定）サービス	登録サポーター数
平 城山	買い物代行、電球交換、掃除、困りごと相談、書類整理など	33
平 鎌田	声かけ、買い物、電球交換、ごみ出し・分別、つどいの場の運営など	24
小名浜 玉川町西区	安否確認、ごみ出し、買い物、重い物移動、畑作・除草など	21
小名浜 永崎	見守り・声かけ、買い物代行、ごみ出しなど	17
勿来 南台	庭木の手入れ、草引き、窓拭き、重い物の移動（ごみ出し）、つどいの場の運営など	25
田人 入旅人大字区	買い物代行、つどいの場の案内・送迎・運営、入旅人あんしんカードなど	29
常磐 下船尾	買い物代行、ごみ出し、窓拭き・電球交換、障子の張り替えなど	30
遠野 上根本	定期訪問（声かけ）、庭先や墓周りの掃除、重い物の移動、移動サロンの運営など	8
内郷 高坂9区	声かけ・傾聴訪問、つどいの場の運営、意見箱、通院付き添い、薬受け取りなど	14
好間 田代・沼平	個人宅サロンの運営、見守り・声かけなど	8
三和 上市萱	個人宅サロンの運営、生活支援全般、回覧板の引き取り、話し相手など	13
四倉 新町	庭木の手入れ・草引き、家電製品の組立て、つどいの場の運営など	27
久之浜大久 西町1区	見守り・声かけ、ごみ出し、重い物の移動、買い物代行など	19
小川 塩田	公民館サロン、声かけ訪問、草刈り・木の片付け、買い物代行など	26
川前 山下	見守り・声かけ、介護予防サロンなど	5

（平成29年10月31日現在）



住民主体型（住民支え合い活動）

参考資料 9

第2層協議体開催状況

地区	第1回日程	第2回日程
平	7/28	11/27
小名浜	7/28	11/28
勿来	7/21	11/16
田人	7/26	11/29
常磐	7/24	11/14
遠野	7/19	11/20
内郷	7/26	11/29
好間	7/21	11/28
三和	7/19	11/15
四倉	7/31	11/29
久之浜大久	7/28	11/28
小川	7/26	11/29
川前	7/28	11/25

【協議体において出された主な意見】

- 移動販売などの生活支援サービスがリスト化されていると活用しやすいだろう。
- 既存の組織を上手く活用しながら、ごみ出し支援などの新たな活動に取り組めるとよい。
- 多世代の交流の重要性。
- 民生委員の負担が大きいので、隣組長などがそれを支えるような形で見守りに取り組めるとよい。

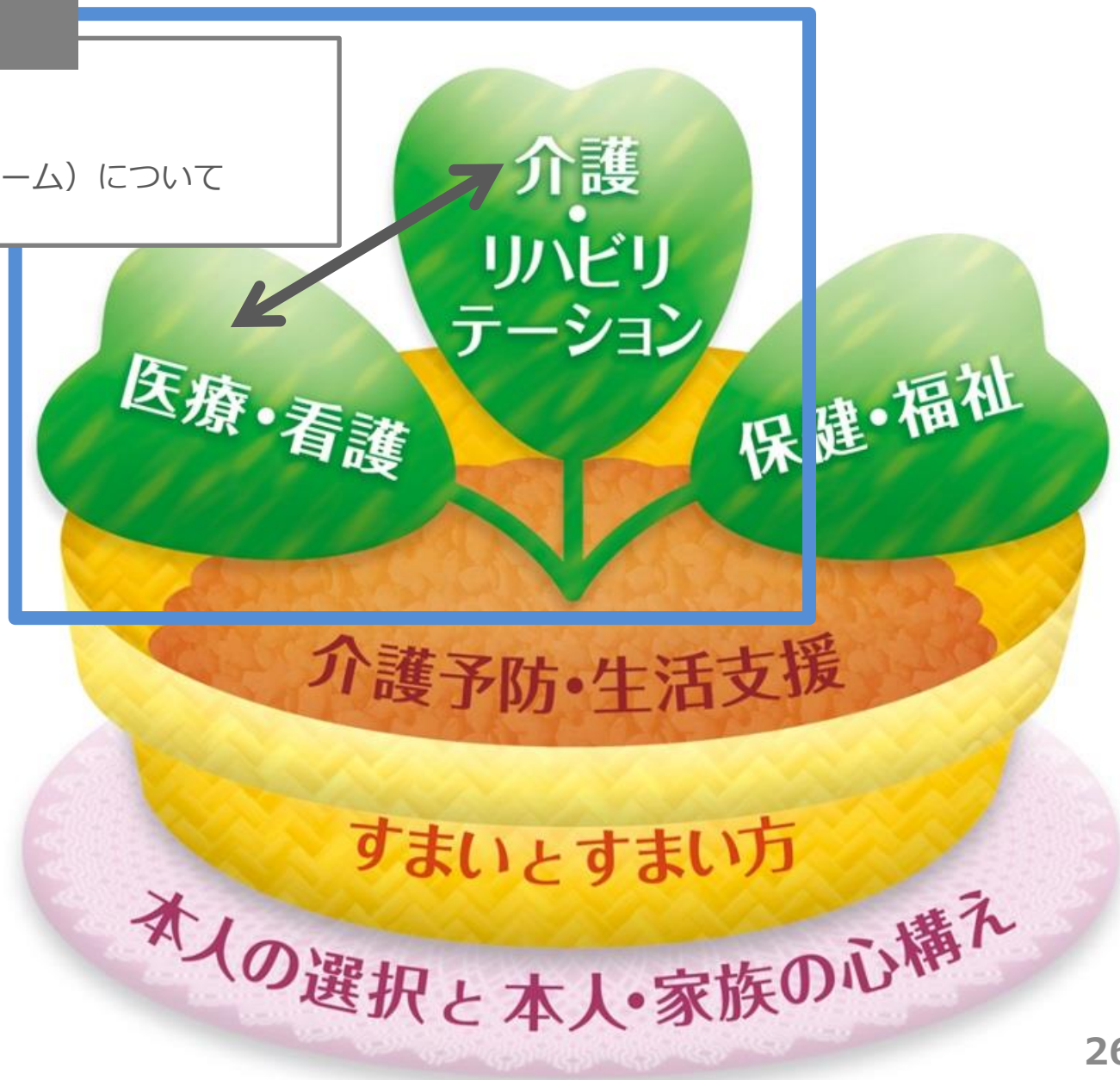
【今後の予定】

現在取りまとめ中である地域ニーズ調査から見てきた地域の現状や課題から、その対応策について検討を進めることで、地域ごとに必要な生活支援に取り組むグループの立上げや組織化を支援していくなど、新たな担い手の養成に努めながら、支え合い活動の必要性などについて周知を図る。



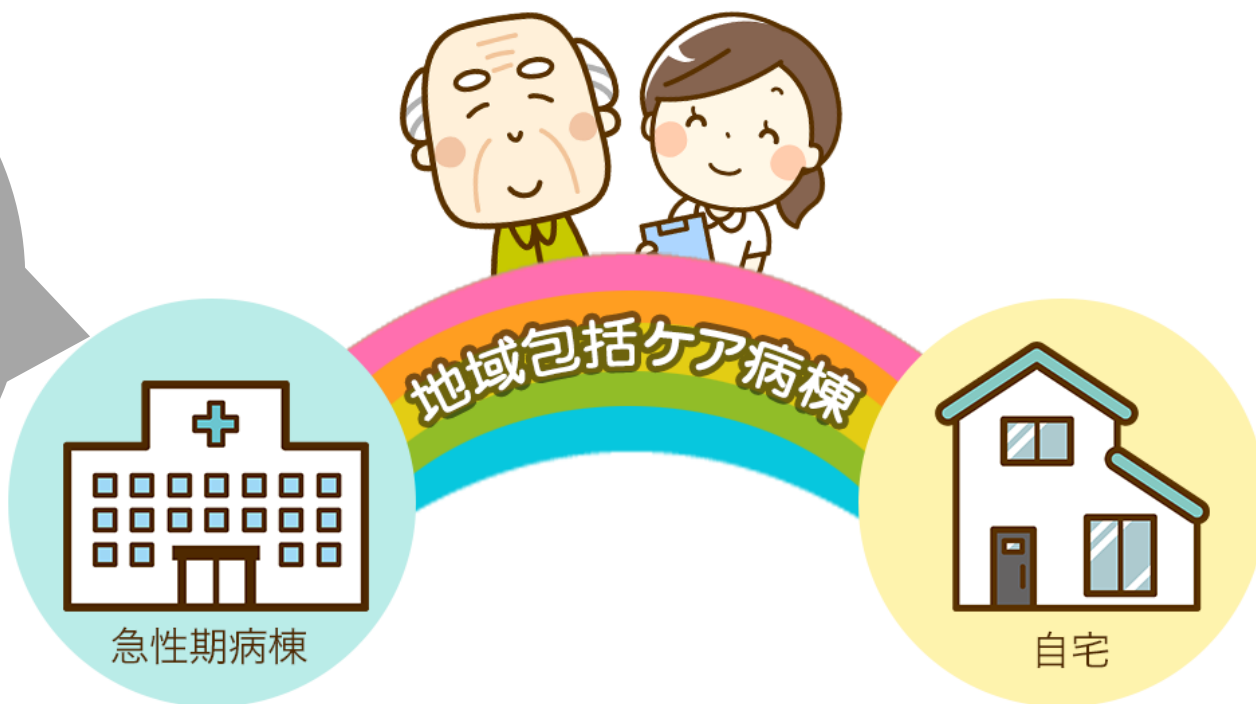
①医療と介護の連携

- ア) 退院調整ルール
- イ) 認知症（初期集中支援チーム）について





ときどき入院
ほぼ在宅



退院時、病院→ケアマネ連絡の有無アンケートの結果

いわき市

ルール策定前
(H28. 7・8月)

53.6%

⇒

ルール運用半年後
(H29. 7・8月)

62.8%

県中

ルール策定前
(H27. 5月)

70.9%

ルール運用半年後
(H28. 8月)

76.4%

ルール運用
1年半後
(H29. 8月)

81.4%



医療と介護連携促進部会

【第1回会議】

1 日程：平成29年10月25日（水）

2 内容

報告事項

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業の取組み状況
- (2) 中地域ケア会議における取組み状況
- (3) いわき在宅医療ネットワークについて

協議事項

- (1) 医療と介護連携促進部会の今後の進め方について
- (2) 在宅医療・介護連携相談支援センターについて
- (3) 情報共有の支援について



11月12日 第3回在宅医療推進のための多職種研修会



10月28日 四倉地区 在宅医療出前講座

【今年度の協議事項】

- 1 在宅医療・介護連携に係る課題の抽出と対応策の検討
⇒具体的な成果指標を設定し、PDCAサイクルによる評価を行う
- 2 在宅医療・介護連携相談支援拠点の設置に係る検討
⇒専門職からの在宅医療や医療・介護連携の相談等に対応する組織の設置を検討
- 3 在宅医療に関する普及啓発について など



認知症初期集中支援チームについて（厚生労働省資料より）

【目的】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

【認知症初期集中支援チームとは】

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

配置場所

地域包括支援センター等

診療所、病院
認知症疾患医療センター
市町村の本庁

認知症初期集中支援チームのメンバー



【対象者】

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人とする。

◆医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人

- (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
- (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない人（エ） 診断されたが介護サービスが中断している人

◆医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している



高齢者生活安全部会

【第2回会議】

1 日程：平成29年12月6日（水）

2 内容

(1) 報告事項

- ・認知症初期集中支援事業について
認知症初期集中支援チームの活動について、市医師会、市作業療法士会及び市薬剤師会から協力を得られることとなり、活動の充実に向けて準備を進めている。
- ・認知症絵本教室について
四倉・久之浜大久地区で実施している認知症絵本教室が小学校において拡大していくよう、小学校長会に対し働きかける。

(2) 協議事項

- ・認知症に関する普及啓発について
認知症サポーター養成講座について、復習の機会とさらに知識を深める講座の開催について協議した。



認知症初期集中支援チーム体制の拡充

【これまでの課題】

- ・ 受診拒否や家族の協力が薄く、医療機関に繋がらないケースがあった。
- ・ 広域である本市において、チーム員数が十分といえず、訪問支援回数が十分に確保できない場合がある。
1 ケース 本市の月平均訪問回数 0.98回
国の月平均訪問回数 3回
- ・ ケースカンファレンスの中で、服薬に関する考察が必要なケースが見られた。

これらの課題について、市医師会と市作業療法士会から、認知症初期集中支援チームの活動に協力を得られる体制となった。

また、市薬剤師会に対して、12月19日（火）協力要請を行った。

- ・ 市医師会 : 認知症サポート医に往診やアドバイス等
- ・ 市作業療法士会 : 訪問支援による生活機能面のアセスメント
- ・ 市薬剤師会 : チーム員会議での服薬のアドバイス
かかりつけ薬局とチーム員の情報連携

年度内の活動拡充に向けて、実施方法等を検討している。



認知症絵本教室について

小学生に認知症の理解を深める、認知症絵本教室を四倉・久之浜大久地区で実施しています。

絵本教室

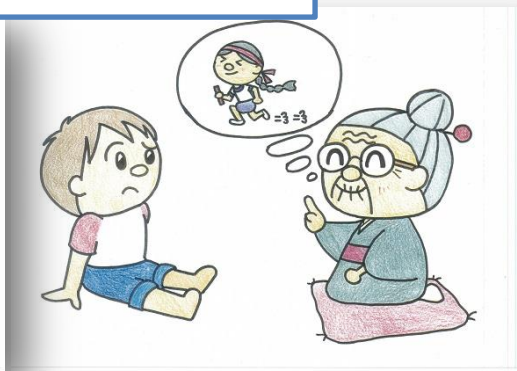


絵本教室の後は、グループワークで理解を深めます。



前回発言
ポイント④

絵本 おばあちゃんのお煮しめ 参考資料10



次年度に向けて、認知症絵本教室を拡大できるよう、小学校長会に働きかけることともに、講師の体制を整えていきます。



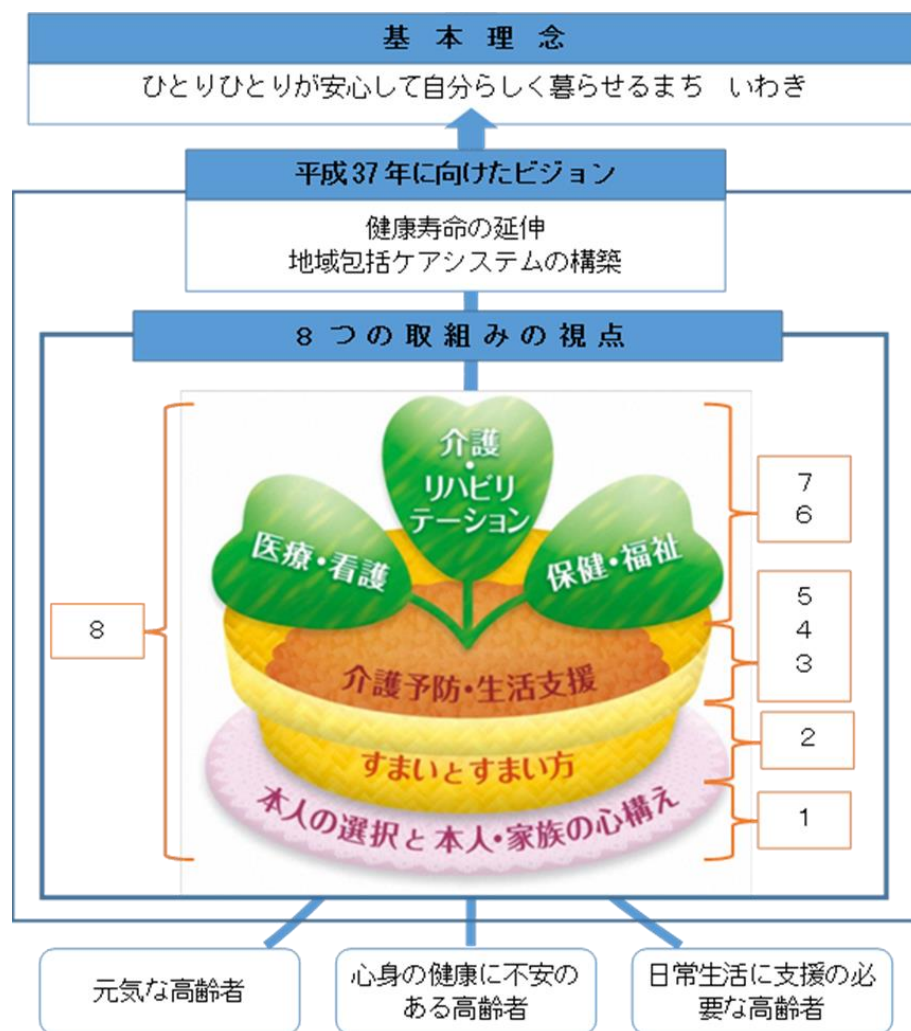


次期市高齢者保健福祉計画策定の進捗状況 (市介護保険運営協議会の開催状況)

回次	開催日	計画策定に係る内容
第1回	平成 29 年 5 月 25 日 (木)	・アンケート調査の結果について (介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 、介護支援専門員 調査) ・次期高齢者保健福祉計画の策定及び今後のスケジュールについて
第2回	7 月 19 日 (水)	・次期高齢者保健福祉計画の構成案について ・人口推計について ・「8つの取組みの視点」に基づく取組みの方向性 (案) について
第3回	9 月 28 日 (木)	・介護認定率の現状について ・介護保険サービスの現状について ・在宅介護実態調査の集計結果に基づく分析・考察について ・サービス基盤整備の方向性について
第4回	11 月 29 日 (水)	・計画 書素案について ⇒ 1 月よりパブリックコメント実施
第5回	平成 30 年 2 月 8 日 (木)	・パブリックコメント結果報告 ・パブリックコメントを踏まえた個別案件の協議 ・計画案について ・保険料等報告 ・市長提言内容の整理

**【第7次から第8次へ】**

第8次計画は、第7次計画で定めた「基本理念」「平成37年に向けたビジョン」を踏襲し、8つの取組みの視点を再評価し、これまで進めてきた取組みをフォローアップしながら、平成37年に向け、「地域包括ケアシステム」構築に向けた取組みを、より一層深化・推進していく計画と位置づける。

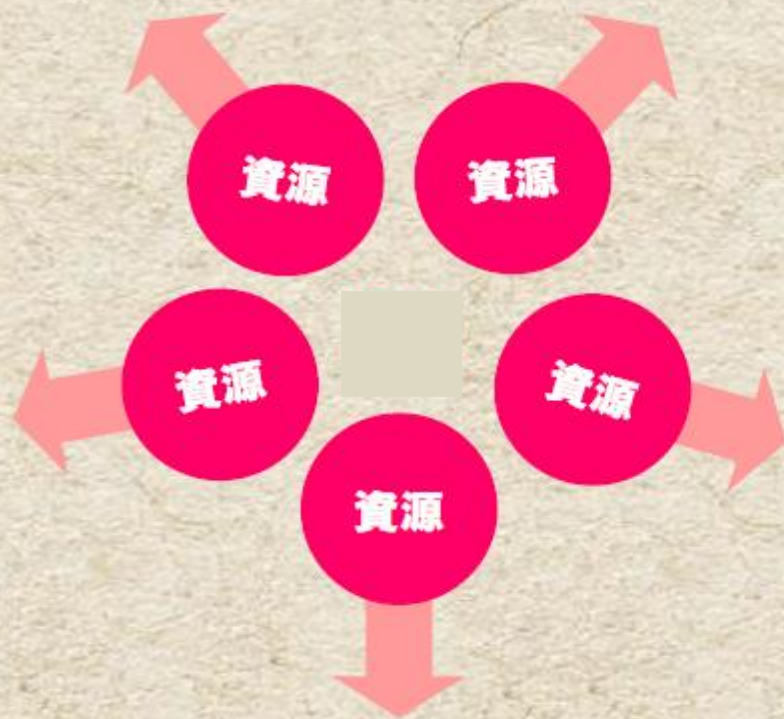


- 1 運営体制の充実と情報発信の強化
(旧：地域ケア会議の充実)
- 2 安心して暮らせる住まい環境の整備
(旧：サービス基盤の整備)
- 3 地域で支える仕組みづくりの推進
(旧：生活支援サービスの強化)
- 4 健康づくり・介護予防の推進
(旧：介護予防・日常生活支援総合事業の推進)
- 5 生きがいつくりと社会参加の促進
(旧：高齢者の社会参画の促進)
- 6 介護人材の確保・育成と介護サービスの充実
(旧：介護人材の確保と育成)
- 7 医療と介護の連携強化
- 8 認知症対策の推進



それぞれが取り組み、
それぞれが発信
でも、バラバラ

より大きな力に



【これまで】

それぞれが頑張ってる。



【これから】

方向性を合わせる
力を合わせる